

- ◆日時:令和4年 11月 8日(火) 10:00~11:15
- ◆場所:中井町保健福祉センター 3階 研修室
- ◆出席:<委員>坂本通泰、早野茂、石渡正次、深見理恵、小澤勲、岩本愛子、加藤彰吾、相原尊行、澤地美佐、西田統、鶴井淳(敬称略)
<事務局>天野泰、加藤裕美、山口早苗
<業務受託者>黒崎晋司、田中史志

- ◆議題:(1)健康増進計画・食育推進計画(第2期)の策定について
- (2)令和4年度健康増進計画・食育推進計画実施状況報告
- (3)その他

【配布資料】

- 次第/中井町健康増進計画推進委員会名簿 中井町健康増進計画推進委員会設置要綱
- 資料 中井町健康増進食育推進計画【骨子案】・・・事前配布
- 資料1 健康増進計画・食育推進計画令和4年度実施状況および今後の予定 みかんレシピ
- 資料2 中井町ホームページ【パブリックコメント】
- 参考資料 目標達成チャート

議題(1)健康増進計画・食育推進計画(第2期)の策定について

中井町健康増進食育推進計画【骨子案】にもとづき事務局から説明し、基本施策1~6を中心に内容を検討した。主な意見は以下のとおり。

◆「基本施策2 ストレス等の解消・休養」について

委員:青壮年期の割合が多い要因は?

事務局:青壮年期は回収率が低く、回答の振れ幅が大きいという面もあるが、青壮年期は仕事・子育てなどの面でストレスが大きいと思われる。接触が難しい世代でもあり、セルフケアができるような支援をしていきたいと考えている。

委員:コロナの影響で不登校が増えたり、在宅勤務により家庭でのストレスも増えたりしている。ウィズコロナを見据えて考えるべきだと思う。

委員:中井町は昼間人口と夜間人口の差が顕著な町だったが、コロナの影響でテレワークなどにより中年期の人が平日昼間に町内に多数いるのであれば、そこへのアプローチを考えても良いと思う。

◆「基本施策3 食育の推進」について

委員:「孤食」という言葉が取り上げられているが、いろいろな意味があると思う。

事務局:一人で食べる「孤食」、子どもだけで食べる「子食」など、さまざまな意味の「コ食」があるので、説明を加えたいと思う。

委員:食育に関しては、食と農を組み合わせ、地元野菜を生かした料理などの取組が必要だと思う。

事務局:施策の方向のなかで、地場産食材の収穫体験などを盛り込んでいる。

◆「基本施策6 身近な活動の促進」について

委員:リタイアした層については、身体を動かし運動するきっかけや外出を促すような取組を地域で進めていくことが大切だと思う。

◆「ライフステージに応じた取組」について

委員:今の子どもたちは、テレビを見るよりも、スマホでユーチューブを見ていることが多い。こうした傾向の変化への対応も必要だと思う。

事務局:中井町の状況に合わせて作成していきたい。

◆「目標達成チャート」について

委員:このまま、計画書に掲載するのは分かりづらい。

委員:計画書の6つの基本施策で目指す内容よりも、個人の生活の目標のほうが相応しいと思う。

委員:計画書に載せるよりも、町民の健康づくりのきっかけになるような使い方を考えるとよいと思う。以上の意見等をふまえて検討した結果、基本施策は、8つ(目標チャート)ではなく、6つ(骨子案)とすることで全員一致した。

◆「中井町らしい健康・食育の推進」について

委員:【習慣】の項目に掲載されている内容が、「基本施策4 生活習慣病の予防・改善」で掲載されている主な事業と一致しないので、整理が必要と思われる。

事務局:「中井町らしい健康・食育の推進」の内容について、分かりやすく整理したい。

◆「計画の進行管理」について

委員:進行管理や事業評価については、できるだけ職員の負担にならないようにしてほしい。

委員:乳幼児期や子ども期は、子ども本人だけでなく、その保護者も対象として考えるべきだと思う。

委員:学校給食の献立を地産地消を進めるなど、「基本方針3 食育の推進」にもつながるような内容を盛り込むと、給食無償化のPRにもなり、よいと思う。

事務局:学校の給食センターの職員等とも連携しながら進めていきたいと考えている。

議題(2)令和4年度健康増進計画・食育推進計画実施状況報告について

資料1にもとづき、事務局から説明し、検討した。質問や意見はなく、承認された。

議題(3)その他

資料2にもとづき、事務局からパブリックコメントの実施について説明し、承認された。

今後の主な予定は、次のとおり。

次回第4回推進委員会;12月13日(火)10:00~

パブリックコメント(予定):12月22日(木)~翌年1月11日(水)

以上